



みんなの暮らしと
つながっています。

Vol.80

令和8年(2026年)

2月1日発行

はまた 議会だより



12月定例会議報告

主な記事

12月定例会議のポイント 2・3

市民対談（土を育てる会） 12・13

12月定期会議



今回はこれがポイント！

子どもの医療費無償化など全議案を可決

12月定例会議では、市長提出議案29件、議会提出議案2件、請願66件について審議しました。

坂根正弘氏、益井俊雄氏の寄付を原資とする坂根正弘奨学基金条例および益井俊雄奨学基金条例などが提案されました。また、指定管理者指定議案として、浜田市ふるさと体験村施設他4件の提案がありました。令和7年度浜田市一般会計補正予算（第6号）では、令和8年度からの高校生年齢の通院自己負担を無償化するための準備経費を含む約2,738万円、学校給食費物価高騰対策事業費約793万円などが計上されました。

また、令和7年度一般会計補正予算（第7号）では、人事院勧告および島根県人事院勧告ならびに人事異動等に基づく人件費の調整に係る経費が計上され、令和7年度浜田市一般会計補正予算（第8号）では、物価高対策としてプレミアム付はまだ応援チケット発行事業等の経費が計上されました。

各委員会や本会議で慎重に審議した結果、12月定期会議に提出された全ての議案を可決しました。

トピックス

高校生世代の 医療費が無料に

文庫版

**プレミアム付
はまだ応援
チケット第5弾！**

減と地域経済の活性化につなげてください。

**物価高対策の子育て
応援手当を支給！**

浜田市では、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子どもを育てられる環境を整えるため、子ども医療費助成制度を拡充しました。これは子ども自身の権利保障の一つでもあります。これまで高校生世代については、通院時に一定の自己負担がありました。令和8年4月からは、市独自の助成により、入院・通院ともに自己負担がなくなります。これにより、0歳から18歳までの子どもが、医療費助成の対象となります。

市議会では、一〇二した趣旨を踏まえ、関連予算を審議し、可決しました。

今後も、子育てやすいまちづくりに向けて、切れ目のない支援を進

チケット第5弾！はまだ応援

物価高騰の影響を受けける市民の皆さんや市内事業者を応援するため、「プレミアム付はまだ応援チケット(第5弾)」を発行します。

このチケットは、7千円分のチケットを5千円で購入できる大変お得な商品券です。

内訳は、共通券3千円分・地元応援券4千円分となつており、市内の幅広い店舗で「利用いただけます。

- ・発行冊数：10万冊
- ・販売開始日：令和8年4月20日
- ・利用期間：令和8年4月20日～令和8年7月31日

日々の買い物やサービスの利用などにぜひご活用いただき、家計の負担軽減

物価高対策の子育て応援手当を支給！

「物価高対応子育て応援手当」は、令和7年11月21日に閣議決定された「新たな総合経済対策」に基づき、全国的に実施される支援策です。

物価高の影響が長期化し、市民生活に影響を与えている中で、特にその影響を強く受けている子育て世帯を力強く支援し、子どもの健やかな成長を応援することを目的に、浜田市では、応援手当を支給する」としました。

- ・ **支給額**：対象児童一人につき 2万円
- ・ **対象者**：0歳から18歳（高校3年生まで）の子どもを養育する世帯。所得制限なし
- ・ **支給時期**：令和8年2月末予定

トピックス

市民に愛される施設を目指して！

市内の施設について の協議

12月定例会議では、市内の重要な観光・交流施設について、今後の運営方針や活性化に向けた取組が議論されました。

生活に必要な施設」「地域活性化の拠点」として、市外からの観光客にとっては「浜田市に行つたら必ず立ち寄る施設」といった内容が含まれます。

美又温泉美肌観光 拠点施設の再公募

道の駅
「ゆうひパーク浜田」
の再出発

ふるさと体験村の 新たなスタート

しい夕日を生かした夕日
神楽や写真教室などのイ
ベントの定期開催、地元
食材を使った直売所や飲
食店の充実について方針
が示されました。また、
災害時には避難場所とし
ての防災機能も担い、地
元住民にとって「市民

浜田駅周辺活性化 社会実験の成果

美又温泉美肌観光拠点施設の再公募

10月に実施した指定管理者の公募で応募者がなかなかつたため、公募条件を見直し、12月下旬から再度公募が開始されました。市民に親しまれてきた温泉施設の新たなスタートに向けて、より魅力的な運営条件の整備が進められています。

9月から10月にかけて三桜酒造跡地などで実施されたまちなか夜神楽、石州酒まつり、BUY浜田昼市など5回のイベントには約3,300人が来場し、来場者の約8割が満足と回答しました。一方で「飲食店や物販店の充実」「休憩や子どもの遊びスペース」などの二一ズもアンケートから明らかになり、今後の駅周辺活性化の検討材料となりました。

用した体験プログラムの充実が期待されています。



議案等の 賛否の公開

12月定例会議で賛否が分かれた議案は以下のとおりです。各議員の賛否や、請願、陳情審査結果などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

令和7年12月 定例会議 市長提出議案29件 議会提出議案2件 選挙2件

議案番号等	議案名等	賛成	反対
議案第96号	浜田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	16	5 西田一平、今田、花田、森谷、足立
議案第98号	令和7年度浜田市一般会計補正予算(第7号)	19	2 森谷、足立

*請願の賛否については浜田市議会のホームページにて確認ください。



請願・陳情について審査しました 請願66件 陳情2件

* 請願・陳情の結果は浜田市議会ホームページにてご確認ください。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

浜田市議会はSDGs(持続可能な開発目標)を推進しています。

質問内容をSDGsの17のゴールで分類しています。



市政を問う

21人が個人一般質問



こちらから動画をご覧ください



すべての人に健康と福祉を

迫りくる2030年問題に備えよ!

- ・市政運営
- ・石見神楽振興
- ・その他の質問項目

- A 浜田市医師会の協力により修学資金貸付制度拡充など、人材確保の新規事業を構築し対応したい。(その他の質問項目)

- Q そのための医療・介護人材の不足はさらに深刻となると予想できる。

- Q 2030年までに高齢者人口増加、労働人口大幅減少、空き家増加など複合的な変化が同時進行で起こる。特に医療・福祉人材の不足は深刻だが、当市における医療・福祉人材の不足予想は。



川神 裕司

- ・観光入込客増加策
- ・人口減少対策
- ・市長所信表明
- ・その他の質問項目

いま物価高から市民生活を守る施策が必要だ

- Q 他市に比べガソリン価格が高いことへの対応は、売り会社から安く仕入れることで価格は下がるが、浜田市ではそのような状況になく、物価高対策は別途検討する。

- Q 物価高の中、相談など市民生活の状況は。A 生活相談の件数は減少傾向であるが、物価高で生活が苦しいとの声が寄せられている。



芦谷 英夫

- ・運営方針や経営改善計画の聞きながら、今後の市

県西部で唯一! 医療専門職の育成の場

- ・関わり方を引き続き検討する。

- Q リハビリテーション力で、地域課題解決や社会貢献を行い、地元学生の安全・安心な学びと生

- Q レッジ島根は、学校法人であり、地域課題解決や



村木 勝也



すべての人に健康と福祉を

実効性あるカスハラ防止対策を急ぐべきでは

Q カスハラ被害が深刻化する中、愛知県美浜町議会では窓口や電話で理不尽な要求や暴言を続けていた住民に400万円の損害賠償を求める提訴に向けた議案を全会一致で議決した。埼玉県三郷市では市議会議員が市職員を怒鳴るなど業務を妨害したとして、三郷市議会は除名の懲罰を科し議員は失職した。浜田市でもカスハラ防止条例を急ぐべきではないか。

A 改正・労働施策総合推進法の趣旨に基づきカスハラ防止条例制定に係る情報収集や予算化の準備をしている。条例の目的は働く人の人格や尊厳を守ることなので、市職員のみでなく働くすべての方を対象としたカスハラ防止対策を考えている。



小川 稔宏



質の高い教育をみんなに

小中学校の自由裁量経費増額へ

Q 市長は市議の頃の個人一般質問で、学校の自由裁量経費の増額を前市長に求めていたが、市長となつて増額する考えは？

A コミュニティスクールなどの地域における実践活動が始まれば必要と想定されるので、仕組みや財源確保を検討したい。

Q 子どもの主体性を高めるために児童会や生徒会活動を促しては？

A すぐには難しいが方向性は同じなので、学校側と相談して考えたい。

(その他の質問項目)

- ・ 市政運営上の最優先事項
- ・ シビックプライド（愛着と誇り）醸成
- ・ 災害やイベントに有用性のある自走式水洗トイレの導入



大谷 学



エネルギーをみんなに そしてクリーンに

太陽光発電などの事業に対し条例制定すべき

Q 風力発電事業については令和3年に市独自のガイドラインを制定している。太陽光発電など他の再生可能エネルギー発電事業に対し、市民の生命や財産を保護し、生活環境の保全や地域と調和した、適正な導入を確保するための条例制定が必要と考えるがどうか。

A 風力以外の再生可能エネルギー発電事業に関する基準はないため、太陽光発電などについてもガイドラインなどの制定に向け検討していく。

(その他の質問項目)

- ・ 不登校対策としての校内フリースクール拡充
- ・ 水道料金軽減や学校給食費支援などの市民生活支援
- ・ 外国人労働者の環境整備
- ・ 不登校対策としての校内フリースクール拡充



佐々木 豊治



働きがいも経済成長も

保育士待遇改善へ向けて

Q 保育士の待遇について、市長の具体的な考えは。市長の具体的な考えは。市長の具体的な考えは。市長の具体的な考えは。

A 保育士の働く環境の改善に努め、引き続き保育士の皆さんのがやりがいを持つて長く働ける環境づくりを支援していく。

(その他の質問項目)

- ・ 市役所業務のDX化
- ・ 浜田市の財政力指数の向上
- ・ 浜田市の財政力指数の向上



遠藤 祐之

人や国の不平等をなくそう

子どもの権利を保障することを約束した市

- Q** 子どもの権利条例制定の必要性は?
- A** 条例は、子どもの権利を保障する活動に根拠を与える、誰にも正しい理解を促すきっかけになる。
- Q** 条例の土台にある子どもとの権利条約の四つの原則のうち「子どもの最善の利益」をどのように捉えているか?
- A** 子どもの視点に立ち、子どもの意見も尊重しながら判断する。
- Q** 条例策は先進地などを参考にこれから検討するが、条例策に子どもの意見を聞くことは大変重要な要素であると考えている。



花田 香

住み続けられるまちづくりを

ハンター育成・猟友会の現状は?

- Q** 猟友会の現状は。
- A** 年齢構成は、70歳以上45%・60歳以上30%。
- Q** 公安委員会指定の射撃場が老朽化しており、抜本的な修理が必要だが考えは。
- Q** 猟友会のハンターの報酬額などを検討する。
- A** 飲食や手当は。
- Q** 危険な仕事であり、報酬額なども検討する。



串崎 利行

訪問入浴介護サービスの継続を!

- Q** 浜田市社会福祉協議会で事業継続できないのであれば、費用負担してでもほかの事業者ができる環境整備をすることが必要。住み慣れた地域でできる限り住み続けられる本当の地域包括ケアシステムを構築してほしい。
- A** 民間が参入してもらえたたらありがたい。
- (その他の質問項目)
- 保育園のゼロ歳児保育に対する浜田市独自の人員配置



足立 豪

地域の裁量で持続可能な中山間地域振興を!

- Q** 中山間地域振興には、即効性と人材育成の観点からも一定の支所裁量の「地域枠予算」を設ける考えはない。
- A** 現時点では各支所単位での「地域枠予算」の考えはない。各支所には災害や緊急修繕など不測の事態に備えて、毎年度500万円ずつの予備費を配当している。
- (その他の質問項目)
- 浜田に住みたい・住み続けられる環境整備



西田 清久



住み続けられるまちづくりを

県立大学生の浜田市内への定住を

- 11 住み続けられる
まちづくりを
- ・民間団体等からの政策提言
 - （その他の質問項目）
 - Q 市との共同研究事業で政策反映できた事業は？**
 - A 商業施設での買い物に利用できるバス路線の延長やバス停新設、運行ダイヤ変更などを行った。**
 - Q 共同研究事業により地域とどのように関わることができたか？**
 - A 大学の専門性を生かし、学生のフィールドワークなどを通じ地域課題把握や住民との交流・理解の促進につながった。**
 - Q 県立大学生の地元就職促進のための支援策は？**
 - A ウェブサイト「働くこう @浜田」を通じた求人情報の提供やふるさと島根定住財団の「ジョブカフェしまね」による学生インターンシップなどの情報提供を行っている。**



戸津川 美二

市道整備と生活インフラ

- Q 浜田の現状認識として市道の維持・補修をどのように優先付けるのか？**
- A 市道の維持・補修については緊急性や交通状況などを考慮して決める。**
- Q 優先順位について基準はあるのか？**
- A 明確な基準はないが、通行の安全性に支障をきたす場合などを優先する。**
- Q また、交通状況は緊急輸送道路や幹線道路などの交通量の多い市道や、代替道路のない場合を優先しており、道路の老朽化状況や危険度などを総合的に判断している。**
- Q 災害時の避難路確保の考え方は？**
- A 避難路が適切に確保され、迅速な避難が行われることにより、被害が抑制されるものと考える。**



川上 幾雄

市民目線で所信表明の市長の思いを聞く！

- Q 駅前や三桜酒造跡地はどうなるのか？**
- A 三桜酒造跡地利用は、にぎわい創出が目的で市民や関係者との対話を重ね、駅周辺のグランドデザインを策定する中で跡地の多目的活用を検討する。**
- Q 農業・林業・水産業の強化策は何か？**
- A 有機農業や水稻支援、循環型林業の推進、漁船更新支援や外来船誘致により、生産力と水揚量の向上を図っていく。**
- Q 農業・林業・水産業の強化策は何か？**
- A 自主防災組織の育成、防災士の配置、防災講座の充実により、地域防災力の向上を継続的に進めている。**



笹田 卓

市民の交通手段を守るために！

- Q 中山間地域における現行の市生活路線バス・市予約型乗合タクシー・民間タクシーの運行状況・利用状況の分析は？**
- A 市生活路線バスと市予約型乗合タクシーについて、毎月の利用実績を受け、データ化し運行状況の把握をしている。**
- Q 便数の少ない中山間地域の市生活路線バスについて、週2～3日の昼便の試験的な増便は？**
- Q 旭浜田線の市生活路線バスは令和2年12月に民間路線バス廃止に伴う代替として運行を開始。廃止当時の運行状況を基に、の試験的な増便は。**
- Q 引き続き利用人数も把握しながら、必要な便数を検討していく。**



今田 実延



住み続けられるまちづくりを

美又温泉の新外湯施設に食の魅力を！

す。
A 飲食店事業者に対し直接ヒアリングを実施し、二ーズを踏まえた新支援制度を来年春までに検討する。

Q 来て、浸かって、食べて、美しくなる」美肌観光の聖地としてどう育てるか？
A 外湯施設と質の高い飲食店の相乗効果で美又温泉全体の魅力向上を図る。地方創生交付金や県の美肌観光事業を活用して、令和8年度予算化を目指す。

たくさんの方に応援を頂き、初めて的一般質問となる。
Q 来年12月オープンの美又温泉外湯施設に併せた飲食店誘致の進捗は？また、現行の補助金では温泉地特有の課題に対応できないのではないか？



西田 一平

情報発信とさらなる県立大学との連携

ー推进
・市民活動を活発化させるためのDXの推進
・メジャーなスポーツにとらわれない生涯スポーツの推進

Q 島根県立大学との連携を深めるため、学生と地域が関わる際のガイドライン作成や研修の実施は検討しているか。

A 現時点では、ガイドラインや研修の実施については検討していないが、連携を深めるための状況把握と相互理解に努める。（その他の質問項目）

Q 浜田市のこれから情報発信の在り方は。
A 現在、これまで多数存 在していた情報発信ツールの統合を進めており、情報を掲載するだけではなく、プッシュ型で市民に確実に届けられる仕組みを構築していく。



岡山 令子

市営住宅の消防訓練未実施の理由は何

A 市としても必要性は認識しており、関係機関と連携しながら実施に向けて努力したい。

Q なぜ市営住宅8施設すべてで消防訓練未実施となつたのか。
A 非特定防火対象物における定期的訓練の未実施については、指定管理者の認識が十分でなかつた事が主な原因。指導と確認をより徹底していく。

Q 今後の改善策は。
A 訓練の実施と報告を指定管理項目に加え、入居者の協力が不可欠のため、周知を強化する。計画的に実施できる体制づくりに取り組みたい。

Q 50人以下の集合住宅やアパートなどでも消防訓練ができる仕組みが必要ではないか。
A つくづく



岡本 正友

つくる責任 つかう責任

スケート場廃止の闇



森谷 公昭

※議会だよりの編集担当である議会広報広聴委員会での協議の結果、一般質問の記事については、個人名の掲載をしないこととしました。
また、森谷議員は個人名の掲載が認められないのであれば、Q & Aの文面を白紙としてイラストのみの掲載を希望されました。



これからのインフラ管理の課題と方策とは

A 道路や橋を集約、廃止をしていくことも出てくるため、地域の方や土地所有者の方にご理解いただき、計画を策定するところまで考えてはいな

A 選択と集中に基づいた考え方を取り入れることは、考えを集中して道路や橋の維持管理を行っていく必要があるのでないか？

Q 人口減少が進む中、道

Q 浜田市が維持管理する道路と橋の総延長は？

A 市道約1,500頃、全管理橋梁数996本で総延長、約14kmである。

Q 子どもの権利について

Q 令和7年7月に子ども

Q 向け概要版を小中学校の児童生徒に配布し、一部

Q 説明してもらっている。

Q 理解を深める場を設けられないか。

Q 今後検討したい。

Q 小中学校では毎年人権研修会が行われている。全員が参加するこの機会に行つてはどうか。

Q そのような機会を設けられるよう検討する。

A そのような機会を設け

A には大人の理解が必要だ。市民の理解促進のため全市または各地域で研

A 修会は開催できないか。

A そのような機会を設け

A ることも必要であり、計

A 画を策定するところまで



沖田 真治



平和と公正をすべての人々に

子どもの権利を守る取組の推進を

A 選択と集中に基づいた考え方を取り入れることは、考えを集中して道路や橋を集約、廃止をしていくことも出てくるため、地域の方や土地所有者の方にご理解いただき、計画を策定するところまで

A 選択と集中に基づいた計画を策定した上で管理を行っていく必要があるのでないか？

Q 子どもの権利を守るために必要な機会を設けることは、地域に住んでおられる方々からも伺っています。

Q 小中学校では毎年人権研修会が行われている。全員が参加するこの機会に行つてはどうか。

Q そのような機会を設けることは、地域に住んでおられる方々からも伺っています。

Q そのような機会を設けることは、地域に住んでおられる方々からも伺っています。



柳楽 真智子

ぎかいポストに寄せられた意見へ回答

▶ご意見

風車を弥栄の近くに建てないでください。

▶対応経過および結果

ご意見をいただきありがとうございます。

既に整備されている風車による道路および河川への影響、騒音問題や景観および生態系に与える問題など、様々な影響が出ていることは地域に住んでおられる方々からも伺っています。

その上で、風車の今後の整備計画につきましては、その地域に住んでおられる皆さまの安心・安全・生活環境を最優先に考えることを前提に、事業内容を精査させていただきます。

(文教厚生委員会)



各まちづくりセンターに、意見・ご要望用紙を「ぎかいポスト」とともに設置しておりますのでご投函ください。ウェブからも受け付けております。





NEWS
01

地方議会サミットで浜田市の事例を報告！

11月8日、9日に法政大学市ヶ谷キャンパスで開催された「全国地方議会サミット2025」に、浜田市議会として参加しました。本サミットは、議会改革の最新動向や、SNS時代の政治コミュニケーション、AIの利活用、そして議会による政策形成など、全国の先進事例と課題を共有する場として開催されたものです。

浜田市議会は、住民参画分野で全国トップクラスの評価を受けていることから、DAY2の「子ども・若者との政策づくり」セッションで事例報告を行いました。

特に、高校生や大学生、市民の皆さんのが議場で思いを語る「はまだ市民一日議会」の取組や、子どもの声を実際の施策へ反映してきた実例について紹介し、多くの自治体から関心が寄せられました。

また、他自治体の政策形成サイクルや委員会活動の工夫、AI活用の最新事例を学んだことで、浜田市議会が今後取組むべき改善点も明確になりました。

今回得た知見を生かし、より開かれた、政策提言力の高い議会を目指して取組を進めてまいります。



NEWS
02

「石見神楽振興議員連盟」 再度設立！



浜田市議会では改選前の任期において、石見神楽の保存・伝承を含めた石見神楽振興を後押しするために「浜田市議会石見神楽振興議員連盟」を設置し積極的に活動を行ったところです。

その結果として、念願の「神楽文化伝承室」の新設や「浜田市石見神楽蛇胴」の浜田市文化財指定実現など、石見神楽振興に大きく寄与できたものと考えます。

さらに「大阪関西万博」における石見神楽の上演は、世界に対して浜田市の魅力を発信する最高の舞台となりました。この取組を地域の魅力醸成と経済再生の絶好の機会と捉え、議会として『先人が生み育て、地域の人々が愛してやまない「日本遺産 石見神楽」を振興し、もっと魅力ある地域づくりと地域経済の再生を図ること』を目的として、昨年度の議会改選後、再度「浜田市議会石見神楽振興議員連盟」を15人の参画で立ち上げました。

取組課題として、今後出される「石見神楽保存・伝承拠点基本構想検討委員会」の答申を踏まえた拠点の在り方、石見神楽衣装・神楽面などの「物づくり」に対して、早急な「浜田市文化財指定」の実現と支援強化、「ふるさと郷育」への石見神楽の活用と後継者育成支援を掲げています。



似ているようで
少し違う

議会ことは Q&A

① 請願と陳情

〈請願〉議員の紹介が必要

市民の要望を議会に正式に提出する制度です。
議会に提出する際には、市議会議員の紹介が必要で、委員会審査と本会議での採決を経て、「採択」「不採択」が決まります。

〈陳情〉簡易に提出できる

市民が意見や要望を伝える点は請願と共にしますが、議員の紹介が不要で、本会議での採決は行われず、委員会審査で終了します。
請願より簡易な手続きで行えるのが特徴です。

② 質問と質疑

〈質問〉政策全般を問う

市の施策全般について、議員が問題意識に基づき問い合わせるものです。
一般質問や代表質問は、この「質問」に当たります。

〈質疑〉議題内容を確認する

議題となっている案件について、その内容や必要性などを確認するために行うものです。
質問とは異なり、質疑の場では自己の意見は述べません。あくまで議題の内容の確認に限られます。



③ 常任委員会と特別委員会

〈常任委員会〉主要分野を担当する常設の委員会

議会が必ず設置している委員会で、市政の主要分野を担当します。
議案を専門的に調査し、浜田市には「総務」「文教厚生」「産業建設」「議会広報広聴」「予算決算」の五つの委員会があります。

〈特別委員会〉特定課題のための期間限定の委員会

特定の課題について、必要に応じて議会が設置する委員会です。
課題が区切りを迎えると解散します。
今回新たに「議員定数等議会活性化特別委員会」が設置されました。

視察の受入れ

令和7年

月 日	視察訪問市町	人数	調査事項
1 1月 9日	兵庫県上郡町	7	・移動期日前投票所(車)の導入
2 1月14日	東京都足立区	3	・浜田市まちなか交流プラザ
3 1月22日	大分県別府市	8	・議会改革に関する常任委員会活動の活性化
4 1月23日	香川県三豊市	9	・議会運営(主権者教育の取組、事務事業評価、議会基本条例の検証)
5 2月 3日	福岡県糟屋地区議会事務局長会	4	・議会改革の取組(はまだ市民一日議会、その他議会改革)
6 3月25日	北海道網走市	7	・移動期日前投票所(車)の導入
7 3月26日	愛知県豊田市	4	・移住・定住の取組
8 3月27日	広島県府中町	4	・議会BCPの取組
9 5月 7日	福井県大野市	1	・音楽を核とした定住促進事業
10 5月14日	愛媛県四国中央市	10	・買い物支援の取組、地域おたすけブック
11 5月28日	長崎県松浦市	4	・企業誘致
12 6月 3日	島根県益田市	1	・浜田市公共交通
13 7月11日	新潟県糸魚川市	1	・議会改革 ・浜田の魚、漁港を活かした新しい取組と行政支援
14 7月28日	茨城県土浦市	7	・企業版ふるさと納税を活用した福祉避難所の整備
15 7月29日	広島県呉市	2	・浜田市オーガニックビレッジ宣言
16 8月21日	島根県出雲市	8	・議会広報誌の取組
17 9月30日	長野県大町市	10	・音楽を核とした定住促進
18 10月 8日	静岡県焼津市	6	・浜田市議会改革
19 10月 8日	鹿児島県垂水市	7	・特定地域づくり事業
20 10月16日	宮崎県小林市	7	・浜田市立小中学校統合再編計画
21 11月12日	京都府舞鶴市	10	・議会改革の取組
22 11月18日	北海道音更町	6	・音楽を核とした定住促進事業の取組
23 12月24日	大分県大分市	4	・移動期日前投票所について



第18回

市民対談

浜田市はオーガニックビレッジ宣言をして有機農業の推進と自然と経済の両立を目指しています。この宣言に共感し不耕起草生栽培による有機農業への研さんと実践に向けて「土を育てる会」が発足されました。市議会として、少子高齢化や担い手不足などの諸課題の中で農業や農のある暮らしを次世代につなげようとする有機農業への活動を後押しできればと思います。(インタビュー:大谷 学)

中山 令和2年に豊田ゼミの学生が所有する畑で有機農業を始めたのがきっかけです。

三重県での交流イベントを通して有機農業を通じて有機農業や自然栽培など多様な生物に優しい農業などを普及している人々に触発されました。浜田市のオーガニックビレッジ宣言に共感し、実践するためにも知識が必要と月2回の読書会を開催しています。



秋に植えたライ麦 (12月上旬撮影)

中山 秋にライ麦の種を播種して、成長したところで倒してマルチングします。ポイントは不耕起用の播種機を使って条

金子 「コストや労力の削減になり生物多様性にもメリットがありますが、農家に経験がないだけに採用されにくいのが課題です。不耕起草生栽培が普及していないのでライ麦を倒すローラーを作り



成長したライ麦を倒してマルチング

土づくりの学びと オーガニックの実践を目指して

生物多様性を生かした 土づくりで省コストへ

する必要があり、一番のネックは不耕起草生用の播種機が日本で作られない点です。

土を育てる会 代 表 中山 森原
島根県立大学地域政策学部教授 豊田
島根大学生物資源科学部客員教授 金子

千尋 正さん
知世 信博さん

オーガニックへの入口を拡げる不耕起栽培 生物多様性を生かして省コスト・省労力化を目指す

中山 「土を育てる会」は、どういった会ですか？

金子 研修会をきっかけに金子先生に指導を受けています。有機農家や家庭菜園を持つ方や大学生によって令和6年4月に設立し、会員は16人です。

中山 「不耕起栽培とは？」

金子 二つの流れがあります。一つは化学肥料と除草剤を使うアメリカなどの大型農業で除草剤に強い遺伝子組み換えした作物を育てる不耕起栽培。もう一つが化学肥料や除草剤に頼らない不耕起草生有機栽培です。

中山 「育てる会」が進めている不耕起草生有機栽培とは？

金子 「コストや労力の削減になり生物多様性にもメリットがありますが、農家に経験がないだけに採用されにくいのが課題です。不耕起草生栽培が普及していないのでライ麦を倒すローラーを作り

—環境経済学の視点から
の評価は?

豊田 大型農業は工業的
で土を土として扱ってい
ません。ライ麦による縁
肥が化学肥料や除草剤を

減らし、土の中の生物が
豊かな土にして経費の削
減や労働時間などを少な
くできるので生産性も上
がると思っています。

次世代につなげる有機農業

—オーガニックビレッ
ジ宣言している浜田市へ
の期待は?

中山 国は「みどりの食
料システム戦略」におい
て2050年までに耕地
面積に占める有機農業の
割合を25%に拡大すると
目標を掲げ推進していま

豊田 単なる有機農業に
すが、耕作放棄地や担い
手不足に対する具体的な
取組が実感できていませ
ん。互いに学び合いなが
らチャレンジして実践を
重ねて農村環境を改善す
るような取組を期待して
います。

すが、耕作放棄地や担い
手不足に対する具体的な
取組が実感できていませ
ん。互いに学び合いなが
らチャレンジして実践を
重ねて農村環境を改善す
るような取組を期待して
います。



圃場に座る金子さん

つくつてほしいと切実に
思います。農家さんの努
力だけでは限界で化学肥
料や農薬で規格のそろつ
た野菜を求めるのではな
く生産時の破棄を減らせ
るよう小中学校からの消
費者教育を通して食育を
進める必要があります。
未来の主役である子ども
たちに理科や社会科など
の授業だけでなく地域に
おける総合的な学習でも
意識を高めてほしいと思
います。

—今後の活動予定は?
中山 令和8年春に金子
先生の講演会とコンボス
トや堆肥作りのワーク
ショップを行う予定で
す。



(上左) **中山 正** (なかやま ただし) さん
土を育てる会 代表。元高等学校生物教員。中山農園株式会社 代表取締役。

(上中) **森原 千尋** (もりはら ちひろ) さん
土を育てる会 事務局長。東広島市出身、豊田ゼミでの耕作放棄地での有機農業プロジェクトの活動が縁で浜田市の農業研修生を経て中山農園に就職され養蜂を担当。

(上右) **豊田 知世** (とよともよ) さん
島根県立大学地域政策学部教授。総合地球研究所、国際協力機構 JICA 研究所、島根県立大学准教授を経て現在に至る。専門は環境経済学。土を育てる会 会員。

(右) **金子 信博** (かねこ のぶひろ) さん
島根大学生物資源科学部客員教授。
横浜国立大学名誉教授、福島大学名誉教授。
土を育てる会 会員。
専門は森林土壤学／土壤生態学／
日本の大学院で初めてアグロエコロジープログラム（農業生態学）を福島大学で開設
主な著書「土壤生態学」「ミミズの農業改革」など

森原 地球温暖化が進
み、今の子どもたちが大
人になったときに地球が
どうなっているかと思う
と持続可能な社会を早く

留まるのではなく、山
(農林業)と海(漁業)や
消費者と生産者の関係性
の中で、互いを知り学び
あって地域の環境を互い
に創造していく普及活動
が大事であると思いま
す。学生と共に活動して
いきたいです。



読書会で使用している書籍

レポート



総務委員会

取組課題「浜田市における防災力強化」について

取組課題として、浜田市における防災力を高めるための取組を進めています。市内では自主防災組織の設立が進んでいる一方、避難訓練などの活動が十分でない地域もあり、実際の災害時に機能する体制づくりが課題となっています。また、防災無線が聞こえにくいくことや、マイタイムライン（個人や家族の避難計画）が十分に浸透していない現状、避難所については、運営を担う人手不足や役割分担の不明確さ、備蓄物資や設備の充実、安全な立地の確保、ペット同行避難への対応など改善すべき点が多くあります。災害から命を守るために家庭で備える「自助」、地域で支え合う「共助」に加え、行政による「公助」が十分に機能しているかを調査し、体制整備や支援の強化を図っていくことが重要です。今後、各地区の実態を把握し、実効性のある防災力強化につながる提言を行っていきます。

文教厚生委員会

新たな委員でスタート！

改選前は福祉環境委員会でしたが教育委員会を所管に加え、11月4日から新たなメンバー7人で文教厚生委員会として委員会活動が始まりました。

委員会として取組課題の案を決めるに当たり委員一人一人が意見を持ち寄り、これから2年間で取組む課題を議論しているところです。取組課題が決定したところで、委員全員で速やかに着手する予定で、今後の活動により新たな委員会活動が模索できればと考えています。

また、12月定例会議中に開催された委員会では、所管事務調査で福祉、教育、水道、税分野それぞれに調査させていただき、現状把握と課題を確認いたしました。今後、諸課題解決のために委員間で活発に意見を交わし、より良い行政運営を行い、市民の満足度向上に努めてまいります。

産業建設委員会

取組課題決定!!

改選後の新旧メンバー7人で、11月13日が執行部を交えた初めての委員会でした。

12月の定例会議中の委員会では、11件の請願、7件の議案、1件の同意について審査を行い、執行部報告事項の「道の駅ゆうひパーク浜田の今後」については、積極的に質疑し、活発な議論が展開されました。

委員会の取組課題については、全委員が意見を持ち寄り議論した結果、1つ目は「浜田漁港・商港の活性化について～海洋産業・観光・物流の一体的振興と持続可能な港づくり～」、2つ目は「中山間地域の再生について～耕作放棄地・空き家の再生と就農支援～」の2テーマに決まりました。

今後の活動に乞うご期待ください!!





委員会活動

議会運営委員会

特別委員会を設置

議会運営委員会は会議の日程や案件など議会運営全般を協議し意見調整を行う委員会です。新たに委員は各会派から選ばれた9人で構成され、新議長や会派からの要請を受け特別委員会の設置について検討しました。委員からは、社会問題となるハラスメント対策をはじめ人口減少に伴う地域産業対策やインフラ整備対策、浜田港湾振興や議員定数見直し、議会活性化など多様な提案が寄せられ、協議を重ねました。協議の結果、浜田市議会の時期改選期における議員定数などの在り方および政策立案などをはじめとする議会活性化に係る調査・検証を行うことを目的とする議員定数等議会活性化特別委員会が設置されました。市民の声を踏まえ課題解決に向けた議論を深めてまいります。

議会広報広聴委員会

「伝わる」議会を目指して

令和7年11月から新たなメンバー構成で活動を開始しました。これまでの取組や引き継ぎ事項を大切にしながら、市民の皆さまの声を丁寧に伺い、議会活動に反映するとともに、その内容を分かりやすく伝える広報の在り方について検討しています。

委員会内では、より良い議会広報の実現に向けて、委員間で活発な意見交換が行われています。多世代のより多くの市民の方に議会を身近に感じていただけるよう、従来の議会だよりに加え、さまざまな情報発信の工夫を重ね、より伝わる議会広報を目指してまいります。

また、はまだ市民一日議会や地域井戸端会など、市民の皆様の声を直接伺う取組についても、引き続き継続していきたいと考えています。

議員定数等議会活性化特別委員会

議員定数等議会活性化特別委員会始動！

浜田市議会はこれまで積極的な「議会改革」に取組み、中でも市民と議会の距離を縮め、市民からの「声」をしっかりと受け止める「はまだ市民一日議会」や「地域井戸端会」などの広聴活動に精力的に取組んでまいりました。その結果、早稲田大学デモクラシー創造研究所が全地方議会を対象に実施された「地域経営のための議会改革度調査2024」において全国2位という名誉をいただきました。

そして改選後初の議会となる令和7年12月定例会議において、会派代表8人による「議員定数等議会活性化特別委員会」を設置いたしました。取組内容として今回は、適正な議員定数、議会活性化として今までの議会改革項目の検証、議員自らのハラスメント抑止に対する条例制定も視野に入れた活発な議論を行う予定といたします。





議長活動レポート

① 「全国市議会議長会特定第三種漁港協議会」の陳情に参加し、農林水産省内の根本幸典農林水産副大臣室を訪問、13港が抱える課題解決のための「競争力強化と輸出促進のための高度衛生管理対策への支援」「海業振興に向けての施設整備への支援」「漁港強靭化への支援」など、27項目の陳情書を手渡しました。

全国1,700の地方自治体と議会は、大都会中心に配分される国の予算を獲得するために、永田町と霞ヶ関に「陳情」を繰り返します。陳情の回数と人数がその自治体や団体の本気度のバロメーターであるという政治価値基準の中に組み込まれているからです。

② 全国市議会議長会の「大規模地震に備えた防災まちづくりの推進に関する特別委員会」に参加。東京大学生産技術研究所の加藤孝明教授の講演のあと、教授に質問しました。

「地震後の自衛隊出動の知事の要請にスピード感がない現状に対し、法律を改正して国の危機管理として国が対応すべきではないか？」

教授「阪神淡路大震災の頃に比べれば良くなっている」

「南海トラフ地震や首都直下型地震が迫っていると指摘されている一方、日本海側での備蓄基地整備が遅れているのではないか？」

教授「Amazonの物流倉庫と連携するなど、民間事業者との関係構築が先と考える」

残念ながら期待する答えを得ることはできませんでした。



次号（Vol.81）は
5月1日発行予定です。

表紙について

絵本作家ユニットtupera ruperaの作品です。また、浜田市世界こども美術館開館30周年記念展「tupera tuperaのツペラボ」を3月7日から5月31日まで開催します。絵本作家ユニットtupera tupera（ツペラツペラ）の原画や立体作品を鑑賞できるほか、来館者が自ら工作を体験できる参加型展覧会です。

子どもから大人まで楽しめる創造的な空間をお楽しみください。

編集委員

委員長
副委員長

岡本 笹田 沖田 戸津川 花田 遠藤 今田 西田 岡山 大谷
正友 真治 美二 香穂 祐之 寒延 一平 令子 学

今回から「議長からのメッセージ」を「議長活動レポート」に変えてお届けします。議長は議会の代表として市内においては「浜田の地域医療を守る会」や「大学を支える会」など約30の医療・教育・防災・商工・観光・土木建設などのさまざまな会の充て職に就任しており議会としての広報広聴や市政運営上の連携活動などに取組んでいます。また、市外においては時に全国や県や石見部などの議長会および漁港や水産の協議会で地域の要望を取りまとめ陳情などの活動を行っています。こうした広範な議会の代表としての活動を市民の方々にお伝えできればと考へての試みです。今後ともより良い紙面づくりに委員全員で取組んでまいります。(記 大谷 学)

あとがき